

参加者リスト_企業

【企業名50音順】

ID	氏名	フリガナ	会社名	センター等	部署	6月2日	6月3日	発表者
1	木谷 重幸	キタニ シゲユキ	京セラ株式会社	人材開発部	産学連携推進部	○	○	
2	田中 政博	タナカ マサヒロ	京セラ株式会社	けいはんなリサーチセンター	基盤技術研究部	○	○	
3	棚橋 成夫	タナハシ シゲオ	京セラ株式会社	本社	産学連携推進課	○	○	○
4	渥美 照夫	アツミ テルオ	太陽誘電株式会社	開発研究所	評価解析技術部	×	○	
5	石田 克英	イシダ カツエイ	太陽誘電株式会社	開発研究所	開発企画部	○	○	
6	岩崎 誉志紀	イワザキ ヨシキ	太陽誘電株式会社	開発研究所	評価解析技術部	○	×	○
7	鈴木 貴文	スズキ タカフミ	太陽誘電株式会社		経営企画本部人事部	○	○	
8	常木 美幸	ツネギ ミユキ	太陽誘電株式会社		経営企画本部人事部	○	○	
9	庄司 哲也	ショウジ テツヤ	トヨタ自動車株式会社	富士研究所 先進技術開発カンパニー	先端材料技術部	○	○	○
10	澤田 英明	サワダ ヒデアキ	日本製鉄株式会社	先端技術研究所	数理科学研究部	○	○	○
11	森口 晃治	モリグチ コウジ	日本製鉄株式会社	技術開発本部	先端技術研究所	○	○	
12	小野 裕己	オノ ユウキ	日本ゼオン株式会社	総合開発センター	基盤技術研究所	○	○	○
13	角替 靖男	ツノガエ ヤスオ	日本ゼオン株式会社	総合開発センター	研究企画管理部	○	○	
14	名取 慧	ナトリ サトシ	日本ゼオン株式会社	総合開発センター	基盤技術研究所	○	○	
15	大越 孝洋	オオゴエ タカヒロ	パナソニック株式会社		イノベーション推進部門 テクノロジー本部	○	○	○
16	鈴木 正明	スズキ マサアキ	パナソニック株式会社	イノベーション戦略室	人材戦略部	○	○	
17	四橋 聡史	ヨツハシ サトシ	パナソニック株式会社		テクノロジー本部	○	○	
18	中島 翼	ナカジマ ツバサ	パナソニック株式会社	リクルート&キャリアクリエイトセンター	採用部	○	×	
19	鬼木 基行	オニキ モトユキ	プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社	バリューイノベーション本部	プロジェクト創出部デジタルエンジニアリング室	○	○	○
20	小谷 幸成	コタニ ユキナリ	プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社	バリューイノベーション本部	プロジェクト創出部デジタルエンジニアリング室	○	○	
21	藤内 誠	フジウチ マコト	プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社	バリューイノベーション本部	プロジェクト創出部デジタルエンジニアリング室	○	○	
22	白鳥 和矢	シラトリ カズヤ	三菱ケミカル株式会社	Science & Innovation Center	Materials Design Laboratory	○	○	○
23	木村 雅彦	キムラ マサヒロ	株式会社村田製作所		先端技術研究開発部	○	○	
24	中本 光則	ナカモト ミツノリ	株式会社村田製作所		デバイスセンター	○	○	
25	平井 大介	ヒライ ダイスケ	株式会社村田製作所		先端技術研究開発部	○	○	○
26	守澤 和彦	モリザワ カズヒロ	株式会社村田製作所	みなとみらいイノベーションセンター	バッテリー開発部2課	○	○	
	26					25	24	9

参加者リスト_博士人材

【ID】 ハイフン左側:職位・学年
ハイフン右側:同職位/学年の通し番号

ID	氏名	フリガナ	所属	専攻	研究室	学年/職名	研究分野	分類	大学での研究内容
PD-01	浅野 優太	アサノ ユウタ	物性研究所			博士研究員	計算科学	理論	高分子を含む複雑な流体、キャビテーションを伴う気液混相流、音波の伝搬など、様々な流動現象を大規模な分子動力学計算によって解析しています。
PD-02	奥村 晴紀	オクムラ ハルキ	物性研究所			博士研究員	計算科学, 材料科学	理論	第一原理計算を用いた大規模計算による高機能永久磁石の開発
PD-03	金子 敏宏	カネコ トシヒロ	新領域創成科学			博士研究員	計算科学	理論	現職(2020.4~)では、分子動力学シミュレーションにより、回路基板材料の誘電物性評価や高分子溶液の相溶性予測に取り組んでいます。過去の仕事として、電子顕微鏡画像を元にした燃料電池触媒層の三次元構造構築とシミュレーションによる性能評価や、多孔質体内部の流体の凝固点予測モデルの構築などの実績があります。
D3-01	山本 卓矢	ヤマモト タクヤ	理学系	物理学	藤堂研究室	博士3年	計算科学	理論	大規模な物理系を精度良く計算するために、テンソルネットワーク法という計算手法を開発しています。テンソルネットワーク法は近年開発された手法であり、機械学習や量子アルゴリズムでも応用が期待されています。本研究では、フラストレーションを含んだ物理系での応用を目指しています。
D2-01	尾崎 壮駿	オザキ ソウシュン	理学系	物理学	小形研究室	博士2年	計算科学, 物質科学	理論	トポロジカル絶縁体などの新しい材料の磁氣的応答の理論。特に、磁場に誘起された電子の軌道運動がどのような磁氣的応答を生むか、という点に着目して研究しています。
D2-02	小野瀬 雅穂	オノセ マサホ	工学系	物理工学	賀川研究室	博士2年	物質科学	実験	高圧合成法により、新奇トポロジカル磁気秩序を示す遷移金属酸化物の新物質開拓をおこなっています。 <input checked="" type="checkbox"/> 実験系ですが、1年半ほど前から新しく第一原理計算も始め、 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧下での結晶構造の安定性や、期待される物性に基づく候補物質のスクリーニングのために活用しています。
D2-03	坂巻 拓海	サカマキ タクミ	理学系	化学	中村研究室	博士2年	材料科学	実験	有機デバイスへの応用を指向した新規有機材料の開発
D2-04	瀧本 翔平	タキモト ショウハイ	理学系	物理学	村川研究室	博士2年	物質科学	実験	低温物性や超低温技術を専門とする研究室に所属しています。核スピンのエントロピー変化を利用した「小型連続核断熱消磁冷凍機」の開発を研究テーマとしており、この冷凍機を用いて1 mK程度以下の超低温度を発生させることを目指しています。
D2-05	土本 晃久	ツチモト アキヒサ	工学系	化学システム工学	山田研究室	博士2年	計算科学, 物質科学, 材料科学	実験	リチウム/ナトリウムイオン電池用正極材料の開発
D2-06	中尾 篤之	ナカオ アツユキ	新領域創成科学	メディカル情報生命	津田研究室	博士2年	データ科学	理論	量子計算をもとに、分子に人工的な力を加えることにより化学反応をシミュレーションする手法にAFIRという手法がある。この手法で再現できる反応は素反応であるが、繰り返しAFIRを適応することで化学反応全体をシミュレーションすることが可能となる。これは、反応の中間体をノードとみなした反応グラフネットワークを作っていることになる。私は、この手法にグラフ理論や機械学習を適応することにより、効率的に化学反応を解析する手法を開発している。最終的には反応のボトルネック解析や逆合成解析等に利用できるように手法を目指す。

ID	氏名	フリガナ	所属	専攻	研究室	学年/職名	研究分野	分類	大学での研究内容
D2-07	馬場 翔太郎	ババ ショウタロウ	工学系	物理工学	沙川研究室	博士2年	計算科学, その他	理論	数値計算を利用した統計物理における研究. 主に量子系のダイナミクスに興味があり, 最近では機械学習を利用した量子多体系のダイナミクスの制御に取り組んでいる.
D2-08	松本 啓岐	マツモト ヒロキ	理学系	物理学	林研究室	博士2年	物質科学	実験	表面弾性波における非線形現象の探索
D2-09	八日市屋 朋子	ヨウカイチャ トモコ	工学系	化学システム工学	中山研究室	博士2年	計算科学	理論	金属クラスターや固体金属触媒反応について, 密度汎関数理論による第一原理計算で反応機構解析を行っています.
D2-10	吉村 勇紀	ヨシムラ ユウキ	理学系	天文学	河野孝太郎研究室	博士2年	データ科学, その他	実験	ミリ波サブミリ波(主に80GHz~900GHz)の信号を受信する電波望遠鏡を用いて, 星間空間の分子について観測的研究を行っています. 特におよそ60台のアンテナを用いた電波干渉計であるALMA望遠鏡を用いて, 我々の住む天の川銀河の外にある遠方の銀河の観測を主に行っています. また既存の大型装置を活用するだけでなく, 自分たちで受信機を開発し, 望遠鏡に持ち込んで天体信号を受信することも行っています.
D1-01	石垣 泰暉	イシガキ タイキ	情報理工学系	知能機械情報学	深尾・山本研究室	博士1年	計算科学, その他	理論	ヒト型ロボットの計算モデリングや運動制御等の研究を行っている. ロボットの脚をスポーツの義足のような柔らかいもので構成し, 義足の柔らかさを利用して走ることやジャンプなどの運動の実現を目指している. これまでに, 柔軟構造とロボットの剛体リンクを組み合わせた力学計算を可能にし, 今後は, ロボットの体の動かし方や義足の設計法に活用する予定である.
D1-02	片岡 佑太	カタオカ ユウタ	理学系	物理学	杉野研究室	博士1年	計算科学, 物質科学, 材料科学, データ科学	理論	電極表面における水素拡散について
D1-03	宮崎 優	ミヤザキ ユウ	工学系	物理工学	塩見雄毅研究室	博士1年	計算科学, 物質科学, 材料科学, データ科学	実験	・トポロジカル半金属ナノワイヤの磁気輸送特性評価 ・ベイズ統計に基づいた電気化学インピーダンススペクトル解析 ・密度汎関数理論に基づいた第一原理計算
	17								